



みなみおか

第20号
2020.12.3
発行



初めての 作品展 いかがでしたか？

11月には、**個人懇談**に合わせて作品展を開催いたしました。お忙しい中、来校いただきありがとうございます。個人懇談では、今回初めて担任とゆっくりお話ができた方も多かったことと思います。6月に完全再開してから、子どもたちは家で学校の様子や担任のことについてお話していたと思いますが、いつものように授業参観もなく、学級懇談もなかったの、子どもはどのように学校生活を送っているのだろうか？どんな先生なのだろうか？と思っておられたことと思います。学校も、保護者の皆様一人ひとりとゆっくりお話ができ、とても良かったと思っています。今後も、気軽に連絡を取りながら、一人ひとりの児童を温かく見守っていききたいと思います。どうぞ、よろしくお祈りします。



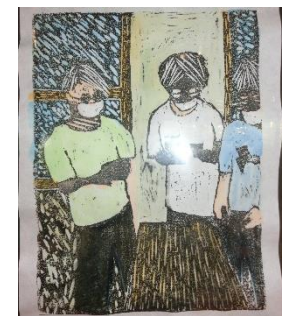
作品展いかがでしたか？「おかあさんとおとうさんが、毎年作品展やってほしいと言っていたよ！」と伝えに来てくれた子もあり、初めての試みでしたが素晴らしいものになったと嬉しく思っています。どの学年も素晴らしい作品が展示してありましたが、オーケストラの演奏をバックに、6年生の作品「思い出つまった版画」を一人ひとり眺めていると、胸が熱くなりました。



クラスメートとマスクをしてトランプをしている作品、休校が続きやっと思った今年、楽しみだった修学旅行が中止になった6年生、でも友達とこうしてマスクをして、トランプをすることがとても楽しかったのだという思いが伝わってきました。また、昨年に行った林間学舎が一番の思い出になった子も…やはり、非日常である旅行は子どもたちにとってとても楽しい思い出になるのだなあって感じました。魚のつかみどりの作品、修学旅行には行けなかったけど、友達と一緒に過ごした二泊三日のことを忘れないでほしいなあとも思いました。他にも図書館が大好きだったという子の作品、ランドセルや筆箱など勉強道具にありがとう！と伝えている作品など、



どれもすばらしく、そして私たちにメッセージを送ってくれているように思いました。「毎日通う学校って、とても素晴らしいところだよ！勉強ばかりでしんどいこともあるけど、友だちがたくさん



いる学校をだいすきになってほしいなあ・・・」と。

1年生は、学習したことを作品に……。スイミーが会った海の魚たちを作りました。こんなにおもしろい、元気な魚にたくさん出あうと独りぼっちになったスイミーもどんどん元気になって



行くだろうと思いました。一人ひとりの個性ある作品は、見ている私たちにも元気を与えてくれます。

2年生は、校外学習でみた太陽の塔を描きました。太陽の塔の制作者である岡本太郎さんの作品に負けな



いぐらい、創造力豊かな作品が勢ぞろいしました。心の奥に秘めている強い力が絵に出ているなあと感じました。名前、見つかりましたか？

3年生は12月にふさわしい、すてきなファンタジーの世界を作ってくれました。見ているだけで、心が癒されてきます。ペットボトルと光の組合せが活かされている作品が並んでい



ました。家でろうそくを付けて眺めるだけで、落ち着いてきますね。

どの学年も制作段階から見ているので、作品を通しての工夫や苦勞も感じ取れることができました。このような機会が持てたことをとても嬉しく思います。



4・5年生の作品については次号に載せます。